

〈〇実践事例〉平成21年度 研究委嘱地域の取組

発表テーマ 学校とともに地域ぐるみで食の楽しさ、大切さ、関心をもつ子どもの育成

所属名 所沢市教育委員会保健給食課

1 はじめに

成長期にある子どもにとって、健全な食生活は健康な心身を育むために欠かせないものであると同時に、将来の食習慣の形成にあたり大きな影響を及ぼすことから、学校給食の教育的役割を改めて見直すとともに、学校における食育を進めていくことが求められている。

学校において食育を推進するためには、学校教育全体での指導を実施することが必要となるが、その中心となるのが栄養教諭であり、また、学校給食摂取基準に沿った学校給食の食事内容の充実も重要な課題となっていることから、「栄養教諭を中核とした食育の推進」を研究課題として設定し、

- ① 学校給食を活用した食に関する指導の充実
- ② 組織の中で個別指導を充実させるための方策
- ③ 家庭、地域への効果的な普及啓発を行うための方策

の3つをテーマとして掲げ、栄養教諭を中核とした学校、家庭、地域の連携体制のもと、テーマに沿って研究に取り組んできた。

2 取組

(1) 学校給食を活用した食に関する指導の充実

ア 学校給食指導講習会の開催

演題「食育推進における栄養教諭の役割」



- ☆学校給食は生きた教材
- ☆学校教育活動全体を通じて取り組む
- ☆学級担任と栄養教諭の連携の重要性

【講師】女子栄養大学短期大学部
教授 金田雅代氏

イ 児童への食に関する指導

栄養教諭等と学級担任等によるチームティーチング



生活科「とうもろこしの皮むき
きをしよう」(2学年)

学級活動「すききらいしないで
食べましょう」(3学年)



